

山科-醍醐地域をはじめとする、地域の安心安全、住みよいまちづくりに向けて!

令和7年9月市会において、自由民主党京都市議員団を代表して、松井市長に対して代表質問を行いました。*以下要旨

①空き家対策の強化について

Q.山本しゅうじ いつ自分が当事者になるかもしれない空き家問題。事前の予防策や早期の対応で、将来負担は減り、活用できれば収入にもなる。加えて、地域の防災・防犯面も改善し、住みよいまちづくりにも繋がる。本市の空き家対策情報が多くの市民の目に触れるような、広報・啓発活動を推進する事が重要であり、本市の定住・移住対策にも、大いに寄与することになる。これまでの取組の成果と、今後の空き家対策の強化について伺います。

A.松井市長 相手の心に響き、心を動かす広報が重要。職員が様々な機会に地域に出向いて、直接対面による発信を強化します。「Kyoto Dig Home Project」においても、制度を実際にご利用いただいた方の生のお声を動画でお届けする等、より心を動かす情報発信を行います。

②山科・醍醐地域全域の均衡ある発展と振興策について

Q.山本しゅうじ 山科・醍醐地域全域の均衡ある発展に向けて、ハード・ソフト両面の取組の成果を着実に積み上げていくことが重要。今後の施策の充実や課題認識、山科・醍醐地域の将来像について、どのようにお考えでしょうか?

A.松井市長 元ラクト健康・文化館の有効活用、東野公園の遊具の充実などを着実に進めるとともに、まちの象徴となる取組を契機に、道路・交通・観光など様々な分野の取組を順次、山科・醍醐地域全体に波及していく必要があります。市民、事業者の皆様とともに、より一層機運を高め、地域への愛着が深まり、まちのブランディングにつながる、あらゆる世代がワクワクするまちの実現に向け、ハード・ソフト両面の取組をしっかりと進めます。

③道路の冠水対策について

Q.山本しゅうじ 市民生活の安心安全の向上のため、道路、河川、公園などの社会基盤整備に対して、多大なご尽力をいただいております。その最前線で、昼夜を問わず活躍いただいているのが、土木みどり事務所の皆さん。先日の集中豪雨によって中京区において道路冠水が発生したが、土木みどり事務所では適切に対処されたものと伺っている。今後、本市においても、更なる豪雨災害の激甚化・頻発化が想定される中で、どのような道路冠水対策を講じておられますか?

A.田中建設局長 これまで道路冠水が発生していた烏丸丸太町周辺では、雨水を道路下の空間に取り込む「烏丸丸太町幹線」を上下水道局により整備中であり、全面供用に先立って、今年8月に部分供用を開始したことにより、これまでに比べて冠水被害の軽減につながった。

鉄道などのアンダーパスでは、道路状況をリアルタイムでお知らせする冠水情報板などを入口付近に設置している。今後も、想定を上回る大雨にも備えるため、冠水情報板の増設など更なる道路冠水対策に取り組み、市民の安心・安全を守る、雨に強いまちづくりを強力に推進します。

④豊かな『みどり環境』があるまちづくりについて

Q.山本しゅうじ 京都らしい、庭園のような「みどり空間」を整備・配置し、持続可能で、魅力的な、緑の質の向上を図る取組を推進していくことが重要であり、本市として、良好で豊かな「みどり」があるまちづくりを、今後、どのように進めていかれるでしょうか?

A.竹内副市長 緑の量の確保だけを目指すのではなく、例えば植樹帯の雨庭への転換といった、それぞれの緑の質の向上にも取り組む。引き続き、緑を愛する方々や深い造詣をお持ちの方々など、多様な主体と連携を図り、空間と暮らしを美しく彩る「みどり」のあるまちの実現に向け、市民の皆様とともに取り組みます。



京都市会本会議場にて



外環三条交差点の雨庭

⑤地域コミュニティの活性化・再構築について

Q.山本しゅうじ 地域コミュニティの希薄化や担い手不足等が進行する中、身近な地域の支え合い、いざという時の助け合い、つながりを維持していくためにも、身近な地縁コミュニティの存在が重要である。

今後、いかに地域に関わる人を増やしていくのか、多様な主体を「つなぐ」役割が重要。令和7年度は、地域コミュニティに関する新たなビジョンを策定すると伺っているが、地域の声や成功事例を参考にしながら、こうした視点を盛り込むとともに、行政の果たすべき役割、とりわけ、住民に最も身近な存在である、区役所・支所の果たす役割について、明確なビジョンを示していただきたい。

A.松井市長 行政が、組織や制度の垣根を越えて、結節点の役割を果たすことが重要であり、今年度立ち上げた「地域コミュニティHub」が、その役割を担うものと考えている。区役所・支所の「区Hub」は、地域特性を熟知し、俯瞰的に地域を見ることが区長のマネジメントのもと、市民の安心安全な暮らしを最前線で支える役割に加え、地域や市民の声を政策部局に届け、政策を磨き上げ、あらゆる垣根を低くして多様な主体のつながりや交ざり合いを作るなど、市政をリードする役割を果たし、こうした区役所像を新たなビジョンにもしっかりと明記します。

⑥5歳児健診実施に伴うフォローアップ体制について

Q.山本しゅうじ 5歳児健診は、子どもたちの健康と発達の総合的な支援にとって極めて重要であり、引き続き、全力で取り組むとともに、健診から療育へ、シームレスにつなげる仕組みを構築することが重要ですが、いかがでしょうか?

A.松井市長 5歳児健診の実施を見据え、切れ目なく療育につなげていく仕組みとして、健診を実施する各区役所・支所の子どもはぐくみ室において、ご相談だけでなく、そのまま療育に必要な手続きを受け付けることを検討していきます。児童福祉センターの専門的な相談や診断の機能も継続し、保護者の方の様々な不安に対応していきます。5歳児健診の実施、そのフォローアップ体制をしっかりと確保することで、子どもたちの発達を支えるとともに、保護者の方への安心につながっていきます。

令和7年度の山本しゅうじの議会活動

◆まちづくり委員会における主な質問骨子

- ①令和7年4月22日(火)(建設局)【元京都市ラクト健康・文化館の活用の方向性について】
 - ・図書館と子どもの屋内遊び場を中心とした活用に至った経緯
 - ・誰もが居心地が良いと感じる空間づくりに向けたイメージ
- ②令和7年6月2日(月)(都市計画局)【モビリティ・マネジメントの取組について】
 - ・地域・事業者等・関係者と連携し、地域に寄り添った支援・取組の今後の展開について
- ③令和7年6月2日(月)(建設局)【新しい国道一号バイパスについて】
 - ・早期実現に向けた取組の経緯について
 - ・道路ネットワーク構築による効果について
 - ・計画段階評価を進めるための調査について
- ④令和7年9月25日(木)(都市計画局)【都市計画道路網の見直しについて】
 - ・地域の方々からの要望、課題の解決に資する方策についての検討状況
 - ・計画路線の廃止によって地域の期待に応えられなくなることについての考え



◆予算・決算特別委員会第2分科会における主な質問骨子

- ①令和7年9月22日(月)(子ども若者はぐくみ局)【子どもの見守り活動を行う団体への追加支援について】
 - ・京都市子どもの見守り活動支援事業補助金の概要について
 - ・本市における、子ども食堂そのものへの補助金や支援策などの取組状況
- ②令和7年10月7日(火)(文化市民局)【区民に一番近い行政機関としての区役所の役割について】
 - ・文化市民局全体の予算の底上げ、予算要求の必要性について
 - ・区役所なんでも相談員 コンシェルジュのような人員配置について
 - ・山科区誕生50周年に向けての取組
- ③令和7年10月9日(木)(教育委員会)【教職員の処遇改善とクラブ活動の地域移行について】
 - ・教職員の働き方改革、ウェルビーイングの向上についての考え
 - ・部活動の地域連携や地域クラブ活動充実に向けた環境整備について
 - ・地域連携、地域移行による期待される効果と懸念点について
 - ・実施体制の構築、制度設計に向けた今後の取組
- ④令和7年10月10日(金)(都市計画局)【山科醍醐地域の均衡ある発展と公共交通網の維持について】
 - ・meetus山科-醍醐の推進に向けた機運醸成の概要について
 - ・地域主体の生活交通確保支援事業の詳細、支援実績について
 - ・小金塚地域の持続可能な循環バス運行に対する継続的な総合的支援の必要性
 - ・モビリティ・マネジメントを行政と地域がともに力を合わせて取り組む必要性



※議会活動での質問動画は、以下のリンクまたはQRから視聴いただけます。

【山本しゅうじHP】
<https://shuji-yamamoto.jp/activity-r7/>

令和7年度 まちづくり委員会 他都市調査 (8月18日~20日)

東京都内において、羽田イノベーションシティでは、自動運転バスについて、導入の経緯と目的、自動運転技術及び遠隔監視システムの詳細などについて大きな知見を得ました。杉並区では、地籍調査のまちづくり等への効果と課題について、千代田区では「ウォークラブルなまちづくり」について、実証実験の成果及び課題と方向性、三鷹市では、「AIデマンド交通」について、地域公共交通の取組状況、小型EVバスの活用からAIデマンド交通による実証運行に変更された経緯、AIデマンド交通の利用状況と利用者の反応、課題と今後の方向性について学びました。

豊島区の「イク・サンパーク」では、公園再構築プランの現状と課題、墨田区では、隅田公園の再整備の概要及び目的、指定管理者導入の経緯、広場等を活用したイベント等の利用状況などについて現地の担当者から詳細な説明を受けました。

- ①墨田区/公園再整備について
- ②杉並区/街区境界調査の効果検証
- ③羽田イノベーションシティ自動運転バス試乗体験
- ④千代田区/ウォークラブルなまちづくり
- ⑤鉄道会社と連携し新設された隅田川橋梁歩道橋



市政に関するご相談や
地域のお困りごとなどお聞かせください!

発行 京都市議員(山科区)

山本しゅうじ事務所

TEL 075-582-9922 FAX 075-582-9933
〒607-8135 京都市山科区大塚野溝町94-3 コーポ中村107号



山本 修士 やまもと しゅうじ Profile

昭和46年 8月1日生まれ
昭和59年 西野小学校卒業
昭和62年 安祥寺中学校卒業
平成2年 京都府立洛東高等学校卒業
平成3年 京都府議会議員山本直彦秘書

平成12年 衆議院議員野中広務秘書
平成23年 学校法人平安女学院勤務
令和3年 京都市議員吉井章秘書
令和4年 参議院議員吉井章公設第一秘書
令和5年 京都市議員初当選(1期目)

家族 妻、娘2人
趣味 読書

